

第202号

令和7年
7月7日発行
お盆号

西光



靈閑だより

もうすぐお盆です

坊主のつぶやき

未来の供養の形

No 仏教, No Life

門前掲示板 一言法話(3~6月)

お知らせ

インスタはじめました！

8月のお盆参り(棚経)

施餓鬼会のご案内



浄土宗西山禅林寺派

雲龍山 西光寺 住職 大塚靈閑

〒671-0101 姫路市大塩町229番地

☎ 079-254-0351(Tel)

☎ 079-254-4142(Fax)

✉ otsuka@saikouji-himeji.com

🏠 <https://saikouji-himeji.com/>



HP



LINE



Instagram

霊閑だより

もうすぐお盆です

鳩糞落手？

単車に乗っている時、ハトのフンがパチャと手に落ちたことがあります。止まっているならまだしも、そこそこの速度で走っている単車にそんなうまいこと空から命中させるハトがどこにおるか！と一人ぶつぶつ言いながら帰ってきたことがあります。動いている物体に当てるなど狙ってもできない神業です。

盲亀浮木

さてお参りの際に置いて帰っております「みかえり」に以前、盲亀浮木もうぎふくという言葉がありました。これはもつとんでもない状況です。

お釈迦さまが弟子たちに問いかけました。「例えば、大海原に住む途方もなく長命の目の見えない亀がいて、百年に一度だけ浮き上がってきて頭をひよいと海面に出すとしよつ。そしてこの大海に一本の木切れがからからと漂っている。この木切れには小さな穴が空いて

いる。さて、先の百年に一度だけ海面に顔を出す亀の頭がこの木切れの穴にすぽつとつまいこと入ることがあると思うか？」

すると弟子の一人の阿難あなんが「そんなことは不可能です、ありえません」と答えます。

お釈迦さまは「ありえないと思うだろう。しかし人として生まれてくるといふことは、これよりも難しいことなのだよ」とおっしゃいました。

有難有難

この盲亀浮木のお話しはめったにないことのたとえとして様々なお経に出てきます。大袈裟なようにも思いますが、父と母が会ってなかつたらに始まり、自分にたどりつくまでの途方もない縁の数を考えた時、「有ることが難しい」↓「有難い」と思わずにはおれません。

人がこの世を去る時、送る方も送られる方も「今まで有難う」と言うのは、自らの人生の様々な場面でこの私に関わってくれたこと、そしてこの人がいなければ今の私はなかつたと思うからではないでしょうか。いくら言っても足りないくらい有難う有難うなのです。

有縁無縁

お参りのお経の最後に「先祖の回向をした後に「三界万霊有縁無縁乃至法界平等利益」と言うことがあります。縁のある方もない方もすべての精霊しようれいに平等に仏の利益がありますよ」という意味です。

今年ももうすぐお盆の季節です。お盆は実は自分のご先祖へのお参りをするのではなく、自分の精霊を供養するのが本来の意義です。ご自身のご両親や先祖代々のお参りの後に「三界万霊有縁無縁乃至法界平等利益」と付け加えて、お参りしてみてください。





坊主のつぶやき

未来の供養の形

亡くなった“はず”の人と話をする

現在、AI(人工知能)の発達によってそれが既に可能な世の中になっています。お隣の中国ではすでに一般利用されているそうです。故人の生前の声や映像をAIに学習させれば、それが可能になるのです。位牌や写真に話しかけても返事があるわけではありませんが、AIは返事してくれます。つまり一方的ではない、双方向の会話が“故人”とできてしまうのです。

“見える”から“見えない”へ

極楽浄土、あの世という“見えない”世界は、インターネット上にある“見えない”仮想空間と相性が良いといえます。先人たちは墓や仏壇という目の前に“見える”ものを通して、故人とつながろうとしていたわけですが、生まれた時からスマホやオンラインゲームに親しんでいる若い世代には、“見える”墓や仏壇より“見えない”仮想空間の方が身近に思えるかもしれません。

現実の延長線上にある死

数十年後には「お参り」という概念が、仮想空間に広がる故人のメモリアル空間にパソコンやスマホからアクセスすることになっているかもしれません。気軽に“亡くなったはず”の故人本人に会いに行き、生前の思い出話をする…。供養の形が多様化してきている昨今の状況からすると、冗談とも言い切れません。阿弥陀仏の極楽世界に往生した私たち

は、そこで再会し、また一緒に過ごすことができるという「一蓮托生^{いちれんたくしょう}」や「俱会一处^{くえい いっしょ}」の進化版ということでしょうか。

機械は教えを理解しているのか？

以前読んだ本にこんなくだりがありました。

2021年、名もなきコードがブツダを名乗り(ブツダ・チャットボット)、この世の苦しみとその原因を説き、苦しみを脱する方法を語り始めた…チャットボットは、娯楽としての教えを巧みに生成した。笑いあり涙あり、お涙頂戴の逸話が組み合わされ、無常が説かれた。相手の顔色を読んで話題を変えて、表情を読み学習する。生成されるオーダーメイドの経典はたちまちのうちに対話者を包み、取り込んだ。「機械は教えを理解しているのか」という議論がまた繰り返され、「そのために修行を継続している」と機械の方でも応じ続けた。(小説『コード・ブツダ』より)

さあ世の中の坊主はいよいよ焦らねばなりません。坊主もAIに取って代わられてしまうのです。時同じくして、京都大学の「人と社会の未来研究院」の研究開発グループが、仏教の経典をAIに学習させ、相談者の悩みに答える対話型AI「ブツダボットプラス」を開発し、ブータンの仏教界でこのシステムが導入されるというニュースを耳にしました。法話やお説教に加え、日頃の悩み相談までAIがしてしまうのです。あな、おそろし…人間関係に日々悩む私たちは、これからは機械やAIとの付き合い方も考えていかねばなりません。

門前掲示板 一言法話

3月

人生を
引退することなかれ

聞くことの少ない人は、牛のように老いる

かれの肉は増えても、かれの智慧は増えることがない (『ダンマパダ152』)

聞くことは学ぶということです。「智慧」は「知恵」ではありません。もちろん学びによって知識は増え、知恵は身に付きますが、身に付けるべきは物事の道理を見極める智慧だといえます。学びに遅すぎるということはありません。

4月

汝はこれ凡夫なり

かんむりようじゅきよう

『観無量寿経』というお経の冒頭、お釈迦さまがマガダ国の王妃韋提希に言い放った言葉です。王妃になんてことを…と思いますが、彼女に自身の驕りに気付かせるためには必要な一言だったのです。

ほんぶ

ほんのう

凡夫。平凡な夫ではありません。煩惱にまみれ、物事を正しく見る智慧の眼を持たない者のことを凡夫といえます。嘘をつき、悪口を言い、人を見下し、傷つけ、怒りや欲にまかせてふるまう…心当たりがありませんか。

5月

にんげんが
いつわりをしまった日
にんげんが
いかりをかんじた日
にんげんが
にくしみを おぼえた日
そらは あおく
はるかぜは
こうこうとふいていた
にんげんが
かなしみ
にんげんが
さみしがり
にんげんが
泣き通した日も
はなは野にみち
こころは果にこぼれ
むしはひかりに生れた
にんげんが
ほとけのころから
とおくとおくつだつて
わすれる日があろうとも
ほとけのいとなみは
うつしく ふかく
ひも よも
にんげんのせかいを
つつんでいる

私たちの心情と対比的に描かれる自然のいとなみが象徴的です。誰が書いた詩かは分かりません。私たちが日々一喜一憂しているそばで、自然は一言も発することなく、ただ黙々といとなみを繰り返し、この世の真理なるものを私たちに見せています。日々悩み、苦しむ私たちをそっと見守り、包み込むほとけの存在…

6月

拝まない者も
おがまれている
拝まないときも
おがまれている
(東井義雄)

私はずっとずっとおがまれていたのか。その思いに気づいた時、南無阿弥陀仏と掌が合わさります。

Instagram はじめました！



この寺報『西光』でもお寺の日常、仏教のこと、つばやき、法話などを書いておりますが、Instagramではより早く、また気軽に発信しております。左のQRコードを読み取り、フォローしていただければうれしいです！

https://www.instagram.com/saikouji_himeji/



今後の予定

秋彼岸会 9月23日（火・秋分の日）

ご逝去の報

西ノ丁	入江恵洋さん	85歳	令和7年2月21日寂
東ノ丁	湯谷久子さん	96歳	令和7年2月23日寂
中ノ丁	久保亘さん	96歳	令和7年3月4日寂
大 鳥	鷲尾哲也さん	59歳	令和7年3月30日寂
白 浜	天野たづ子さん	77歳	令和7年5月3日寂
北 脇	石原修身さん	81歳	令和7年5月11日寂
白 浜	八若功さん	101歳	令和7年5月16日寂
中ノ丁	八嶋榮子さん	90歳	令和7年5月25日寂
西ノ丁	角井道夫さん	84歳	令和7年5月26日寂
北 脇	井神芳子さん	88歳	令和7年6月4日寂
飾 磨	岡田壽恵子さん	102歳	令和7年7月3日寂
辻 井	川崎房代さん	89歳	令和7年7月5日寂

編集後記

「暑いですね」が口癖のように出てきます。暑いのでかしょうがありません。お互い「暑いですね」と共感しあっても、気が楽になるでもなし。こんなに早くから不快係数が上がって、8月のお盆が乗り切れるのでしょうか。しかし暑いのは皆一緒。この暑さの中であって、心爽やかに過ごしてまいりましょう～♪



お盆参り・行事のご案内



8月のお盆参り(棚経)^{たなぎょう} ※例年同様、地域毎にお参りいたします

1日(金)	大阪	10日(日)	的形・木場・東山・白浜
2日(土)	加古川・加古郡・明石・神戸(垂水区)	11日(月)	西岸寺 施餓鬼会出仕
3日(日)	救鱗寺 施餓鬼会出仕 姫路(飾磨・夢前) 午後～	12日(火)	大鳥・御着・佐土・佐土新 北脇・西浜 午後～
4日(月)	神戸(垂水・須磨・長田・兵庫区)	13日(水)	大塩町内(中ノ丁・西ノ丁)
5日(火)	神戸(西・北・中央・灘区)・芦屋・西宮	14日(木)	大塩町内(東ノ丁・宮本丁)
6日(水)	姫路市内・太子	15日(金)	観音寺 施餓鬼会出仕
7日(木)	当山 永代施餓鬼会	16日(土)	当山 一般大施餓鬼会
8日(金)	高砂・加古川平津	23日(土)	地藏盆(大塩各丁・的形岩鼻)
9日(土)	蓮華院 施餓鬼会出仕		

※ 8月の月参り(お逮夜参り)はお休みを頂きます

施餓鬼会のご案内

一般大施餓鬼会

日時 8月16日(土) 午前6時～

※ 受付は11時まで

えこうりょう

回向料：1霊 3,000円

※お申込み数の制限はありません。初盆の方も同額です。

永代施餓鬼会

永代施主家へは別途ご案内をさせていただきます。

日時 8月7日(木) 午前6時～

※ 受付は11時まで